

# 家族、健康、将来のこと。 住みたい家は、やっぱり木の家。

## TERRA (テラ) 工法とは？

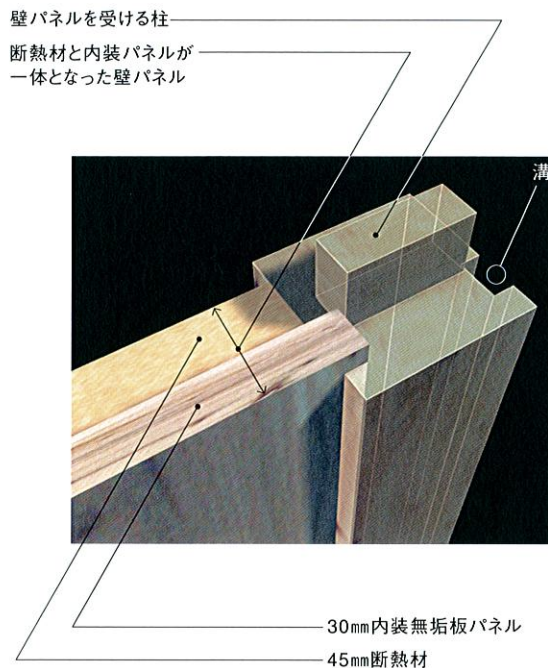
寺社建築に学び、現代技術で進化させました。

大型の木造建築で強度を出すために、出雲大社に代表される寺社建築では、柱の間に羽目板を落とし込む「さくりはめ壁」が使われてきました。TERRA (テラ) 工法は、この伝統工法を応用し、現代テクノロジーのプレカット技術と接合金物技術を駆使して進化させた、強く美しい木の家づくりシステムです。

柱と梁には、構造用集成材や、よく乾燥させた無垢材を使用。接合部は、当社特許の「ロケット金物」で強固に連結。壁パネルは45mm断熱材と、内装材として美しい木の表情を見せる30mm無垢集成パネルが一体化した構造。TERRA (テラ) 工法では、この厚い壁パネルを、柱に刻んだ深い溝にガッチリとはめ込みます。こうして、柱と梁、柱(梁)と壁パネルが一分のスキマもなく一体化し、高气密・高断熱で省エネ効果も高い、強固なモノコック構造ができ上がります。

## さくりはめ壁 構造イメージ

(断熱材 + 内装無垢板パネルが、柱の溝にはまり込んでいます)



## 森のような。空気が きれいな家に暮らしたい。

